

三阪 佳弘

高等司法研究科・教授

【研究】

- 1)大阪における明治初期の代言人の具体的な活動について民事判決原本DB等を通じて分析し、地域社会における法的サービスの需要の担い手の具体像を明らかにする研究をまとめ、「大阪代言人組成立期の代言人と代人——一八八〇年前後における大阪の民事紛争解決の担い手」(『熊谷開作先生生誕百周年記念論文集』晃洋書房、2020年11月)として発表した。
- 2)大阪大学アーカイブズ室の研究教育活動の一環として、日仏の公文書管理制の形成制度の比較を通じて現代日本の公文書管理法制の課題を論じた「第3講公文書管理制度の形成」を分担執筆し、『アーカイブズとアーキビスト——記録を守り伝える担い手たち』(大阪大学出版会)を刊行した。
- 3)書評として『法制史研究70』に「(書評)フラハティ『近代法の形成と実践——19世紀日本における在野法曹の世界』」、『日本歴史』に「(書評)大庭裕介『司法省と近代国家の形成』」を寄稿した(2020年度中は未刊行)
- 4)基盤研究C「戦間・戦後改革期の裁判官制度の比較法史研究——キャリアシステムと職権の独立」(2018-21年度)の研究を順調に進めている。

【教育】

全学共通教育科目「大阪大学の歴史:適塾入門」(オムニバス科目)、高等司法研究科「比較法史」、「法理論」(オムニバス科目・責任教員)、法学部「日本近代法史」、「演習1」=「法政基礎セミナー」、法学研究科「日本法史」=「日本法制史特殊講義」、「比較法史」を担当した。

【管理運営】

- 1)適塾記念センター長として、大阪大学史研究と「建学の精神」顕彰活動に貢献した。
- 2)大阪大学アーカイブズ兼任教員として、アーカイブズの運営に関与して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。
- 3)高等司法研究科の教務委員会委員、評価委員として所管業務に貢献した。
- 4)大阪大学法学会運営委員長として法学会活動に貢献した。

【社会貢献】

- 1)適塾記念会幹事として、重要文化財適塾の保存活動と、研究活動に貢献した。
- 2)大阪府労働委員会公益委員として、不当労働行為事件審査、あっせん等を通じて、労使間の紛争解決とその適正な関係構築への貢献を行った。
- 3)日本学術会議連携会員としての社会貢献を行った。